

第二章 良好な住環境を支える生活基盤の整備

第一節 公園・緑地の整備・充実

主たる担当課

公園の整備・充実と適切な維持管理	62101	公園緑地課
市民の自主的な活動への支援	62102	公園緑地課

第二節 下水道整備の推進

下水道施設の整備と維持管理	62201	下水道課
下水道事業の健全経営の確保	62202	下水道課

第三節 上水道の安定供給

安全な水の安定供給と環境負荷低減に向けた取り組み	62301	工務課
経営基盤の強化と利用者サービスの充実	62302	経営課

第四節 都市排水施設の整備・充実

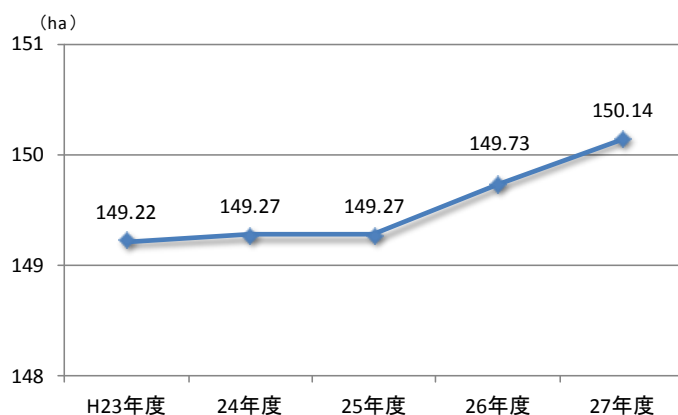
計画的な雨水排水施設整備と維持管理	62401	治水課
雨水貯留タンク・浸透施設の普及促進	62402	治水課

第一節 公園・緑地の整備・充実

現状と課題

- 公園や緑地は、私たちの生活にうおいやすらぎを与えてくれる憩いの場であるとともに、レクリエーションの場、コミュニティ形成の場、環境保全、さらには、災害時には避難場所としての機能も有する大切な空間です。我孫子市における都市公園の整備状況は、平成26年度末で215か所、149.73haとなっています。一方、市内の公園面積の5割強を利根川ゆうゆう公園が占めていることや、市街化区域の一部の地域では公園が不足していることなど、地域のバランスがとれた配置を実現していくには、依然として課題があります。
- 市では、緑の基本計画に掲げる「緑を守る・緑をつくる・緑を育てる・市民の緑づくりを進める」という基本方針に基づき、市街地で公園が不足している一部の区域における公園整備の検討と樹林や歴史的・文化的遺産などの地域資源をいかした特色ある公園づくりを推進しています。これまで、広大な利根川河川敷内に、自然観察・スポーツ・ファミリーレクリエーション・自然緑地の4つのゾーンを備えた利根川ゆうゆう公園を整備したほか、古利根公園や五本松公園など自然をいかした公園づくりを進めてきました。また、手賀沼公園・手賀沼遊歩道の再整備や、かたらいベンチ制度、公園のバリアフリー化などに取り組んでいます。さらに、若い世代の定住化につなげるため、地域の主要な公園に子育て世代にアピールできる遊具の設置を進めているほか、市民により愛着や親しみを持って利用してもらえるよう、手づくり公園事業を推進しています。
- 地域住民による自主的な活動を支援する市民手づくり公園事業には、平成26年度現在で9団体が参加し、11か所の公園で花壇づくりなどの活動が行われています。また、古利根公園自然観察の森や中里市民の森、岡発戸市民の森では、みどりのボランティアによる竹の間伐や下草刈りなどの作業が行われているほか、根戸船戸緑地でも、地域住民による維持管理活動が行われるなど、市民による自主的な活動が広がりはじめています。
- 今後も緑の基本計画に基づき、環境保全、防災、景観形成、レクリエーションなどの機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、地域ごとに適正な配置となるよう整備していく必要があります。また、誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化や計画的な補修も必要です。さらに、市民により身近で親しみやすい公園となるよう、公園づくりや公園管理における市民の自主的な活動を広げていくことも必要です。

■公園・緑地の面積



施策の展開

○公園の整備・充実と適切な維持管理

62101

公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたちも魅力を感じる公園づくりを行います。さらに、老朽化した公園施設の計画的な補修など適切な維持管理に努めます。

○市民の自主的な活動への支援

62102

より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を広げていきます。

目標・指標

目標

【62101】公園・緑地の機能と配置に配慮した整備がされている。

【62102】市民による公園づくりや自主的な管理が広がっている。

指標名（指標の説明など）		現況値	目標値
		平成 26 年度	平成 33 年度
公園の数	62101	215 か所	220 か所
公園・緑地の面積	62101	150.14ha (27 年度)	158ha
市民手づくり公園の活動団体数	62102	9 団体	20 団体
市民手づくり公園の数	62102	11 か所	25 か所

第二節 下水道整備の推進

現状と課題

- 公共下水道は、衛生的で快適な生活環境の形成に必要な基盤施設であるとともに、手賀沼や古利根沼など公共水域の水質を保全するための重要な施設です。市では、これまで、手賀沼流域関連公共下水道を中心に整備を進め、平成26年度末現在、全体計画面積2,334haに対して、1,279haの整備が完了し、整備率は54.8%となっています。また、供用開始区域内の処理人口は109,513人で、下水道の普及率は82.3%、実際に下水道に接続している人口は108,812人で、水洗化率は99.4%となっています。また、大規模な地震時でも、生活空間での汚水の滞留を防止するとともにトイレ機能の確保を図るなど、下水道の有すべき機能を維持するため、平成21年に我孫子市下水道総合地震対策計画を策定し、これまでに、防災拠点や避難所からの排水を受ける管路等の重要な下水道施設のマンホール浮上防止対策を実施してきました。
- 今後も、効率的で効果的な下水道整備を図るため、当面は市街化区域内の下水道整備を計画的に進めていく必要があります。また、我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、既存施設の耐震化を進めるとともに、下水道に直結したマンホールトイレシステムを新たに整備していく必要があります。さらに、老朽化に伴う既存施設の改修やマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、老朽化に起因した道路陥没の事故防止等やライフサイクルコストの最小化を図るため、既存施設の計画的な改築にも取り組んでいく必要があります。
- 下水道事業の健全経営を確保するため、下水道の未接続世帯に対する接続工事にかかる費用の融資あっせん・利子補給制度の活用などのPRを行って、水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収を図る必要があります。また、地方公営企業法の適用により公営企業会計を導入し、自らの経営についての的確な現状把握を行うことが求められています。

■ 下水道普及状況

	平成23年度	24年度	25年度	26年度
全体計画面積 (ha)	2,334	2,334	2,334	2,334
整備済み面積 (ha)	1,256	1,263	1,275	1,279
整備率 (%)	53.8	54.1	54.6	54.8
行政人口 (人)	133,749	133,923	133,558	133,044
供用区域内の処理人口 (人)	109,139	110,142	109,838	109,513
普及率 (%)	81.6	82.2	82.2	82.3

施策の展開

○下水道施設の整備と維持管理

62201

衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレシステムの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。

○下水道事業の健全経営の確保

62202

下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。

目標・指標

目標

【62201】市街化区域内の下水道整備が進んでいる。

【62202】下水道事業が健全に経営されている。

指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 33 年度
下水道の整備率 （下水道の整備済み区域の面積／下水道の計画区域の面積） 62201	54.8%	58%
下水道の普及率 （下水道の整備済区域内人口／住民基本台帳人口） 62201	82.3%	85%
重要な管渠の地震対策実施率 （重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長／重要な管渠の延長） 62201	16.5%	48%
水洗化率 （下水道への接続人口／下水道の整備済区域内人口） 62202	99.4%	100%
下水道使用料の徴収率 （納付額／請求額） 62202	98.7%	100%
受益者負担金の徴収率 （納付額／賦課額） 62202	94.6%	98%

第三節 上水道の安定供給

現状と課題

- 市水道局では、平成26年度末現在、地下水（認可水量：19,600m³/日）と利根川水系江戸川を水源としている北千葉広域水道企業団からの水道用水（基本水量：32,900m³/日）の受水により、水道水を確保しています。また、平成26年度末現在、水道普及率は93.5%、給水人口は124,792人となり、給水人口は平成22年度から減少傾向にあります。また、一人一日あたりの平均給水量も、平成8年度をピークに減少傾向にあり、平成26年度末では、ピーク時に比べて14%減少の272ℓとなっています。
- これまで、市水道局では、水道事業中期計画（平成19年度～平成30年度）に基づき、「安全で快適な水を供給できる水道」、「将来にわたり安定して供給できる水道」、「環境に配慮した水道」、「お客様に信頼される水道」の4つの施策目標の実現に向けて、水質管理の充実、高度浄水処理施設の効率的運用、鉛給水管の解消、直結・直圧給水の普及促進、水道未普及地区の解消、地下水の適正利用と企業団からの浄水受水、施設の耐震化と水運用機能の強化、緊急給水・復旧体制の整備、取水施設（深井戸）の保全、浄水場施設の更新、管路の更新、資源消費の節約と環境負荷の低減、水需要動向を踏まえた料金体系の構築、事業運営の効率化による諸経費の縮減化、親しまれる窓口サービスの提供などの施策に取り組んできました。
- 今後も、安全な水を安定的に供給していくため、水源の安定確保、鉛給水管の解消、直結・直圧給水の普及促進、より耐震性に優れた管種による老朽管更新工事などに取り組んでいくとともに、環境への負荷を低減するため、水運用システムなどの効率化を進め、省電力化にも取り組む必要があります。また、災害時等の応急給水体制をより強化する取り組みにより、災害時等における対応能力を向上させる必要があります。さらに、水道需要の減少で給水収益などの減収が進む中、水道サービスの持続性を確保するため、引き続き、包括業務委託を着実に推進するとともに、官民連携効果によるサービスの維持向上と事業運営の効率化による諸経費の縮減化を実現し、一層の経営基盤強化と利用者サービスの充実を図る必要があります。

■上水道普及状況

	平成23年度	24年度	25年度	26年度
給水区域内人口（人）	135,446	134,314	133,936	133,410
給水人口（人）	127,722	126,592	126,227	124,792
給水戸数（戸）	52,808	53,035	53,389	53,862
普及率（%）	94.3	94.3	94.2	93.5
給水量（千m ³ /年）	12,809	12,721	12,523	12,407
有効水量（千m ³ /年）	12,522	12,373	12,225	12,087
一日最大給水量（m ³ /日）	40,006	39,108	39,225	38,757
一人一日平均給水量（ℓ）	274	275	272	272

施策の展開

○安全な水の安定供給と環境負荷低減に向けた取り組み 62301

安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。

○経営基盤の強化と利用者サービスの充実 62302

水道経営の健全化のため、包括業務委託の着実な推進による官民連携効果で、サービスの維持向上と事業運営の効率化による諸経費の縮減化を進め、一層の経営基盤強化と利用者サービスの充実を図ります。

目標・指標

目標

【62301】安全な水が安定して供給されている。

【62302】水道局の経営基盤が強化されている。

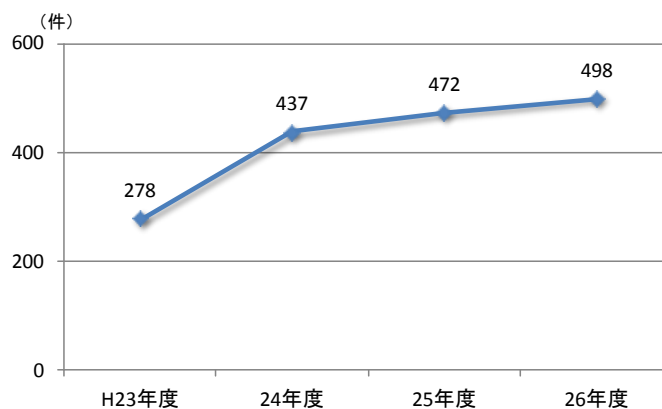
指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 33 年度
「上水道の安定供給」施策に対する市民満足度 （市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合） 62301	62.5% (27 年度)	70%
水道普及率 （給水人口／給水区域内人口） 62301	93.5%	94.3%
有収率（収入となった水量の割合） 62301	97.3%	97.7%
有効率（有効に使用した水量の割合） 62301	97.4%	97.8%
総収支比率 （総収益／総費用） 62302	118.8%	104.2%
水道料金の収納率 （収納金額／確定調定額） 62302	99.5%	100%

第四節 都市排水施設の整備・充実

現状と課題

- 我孫子市には、急激な都市化や近年の地球温暖化による突発的で局所的な集中豪雨などにより、低地部では常襲的な浸水被害に悩まされている地区があります。
- 市では、これまで、幹線排水路やポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修などを重点的に行ってきたおり、浸水被害箇所は減少傾向にあります。また、開発行為などにおいて浸透ます、浸透トレンチなどの雨水浸透施設や調整池の設置を義務づけるとともに、個人住宅における雨水貯留タンクや雨水浸透施設の普及に努めています。
- 今後も、浸水被害箇所の減少を図るため、計画的に雨水排水施設や雨水流出抑制施設の整備を進めるとともに、既存施設の適切な維持管理を行うことが必要です。また、市街地での浸水被害の軽減を図るため、個人住宅への雨水貯留タンクや雨水浸透施設の普及を促進することが必要です。

■ 雨水貯留タンク設置補助累計件数



施策の展開

○計画的な雨水排水施設等の整備と維持管理

62401

市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。

○雨水貯留タンク・浸透施設の普及促進

62402

市街地での浸水被害の軽減を図るため、住宅などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透ますや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進を図ります。

目標・指標

目標

【62401】常襲的な浸水被害発生地区の浸水被害が軽減されている。

【62402】雨水貯留タンクや雨水浸透施設の設置が促進されている。

指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 33 年度
都市浸水対策達成率 （整備完了面積／認可区域面積） 62401	61%	75%
雨水貯留タンク設置補助累計基数 62402	498 基	600 基